

みんなでチャレンジ 町民ウォーキングリレー

これまでの報告
世界踏破の旅

- ★8月1日～31日までの報告
- ★町民参加者：55人
- ★8月に歩いた距離：8,135km
- ★これまでにみんなでリレーした距離：178,356km
- ★到着した場所：ブラジリア（ブラジル連邦共和国）



7月に到着したコスタリカのサンホセを出発し、いよいよ南アメリカへ。パナマ、コロンビア、ベネズエラ、ガイアナ、スリナムを経由してブラジル連邦共和国のブラジリアに到着しました。

ブラジル連邦共和国（通称ブラジル）は南米大陸で最大の面積を持ち（日本の約22.5倍）、アメリカ合衆国よりは小さいですが、ロシアを除いたヨーロッパ全土より大きく、ラテンアメリカ最大の人口を擁する国家です。ブラジルは世界最大の日系人居住地であり、1908年以降の約100年間で13万人の日本人がブラジルに移住し、約150万人の日系人が住むといわれています。

首都のブラジリアは連邦直轄地区で人口は約200万人。ブラジル高原の荒涼とした未開の大地に建設された計画都市です。都市の形は、人造湖のパラノア湖のほとりに飛行機が羽根を広げた形で、飛行機の機首の部分に国会議事堂や最高裁判所が並び、羽根の部分には高層住宅や各国大使館があります。国会議事堂や大聖堂などは、いずれもモダニズムの流れを受けた未来的なデザインで作られています。1987年には、世界遺産に登録されました。歴史的な街並みを持つ都市が世界遺産に登録されることは多いですが、建設されて40年未満という若い都市が登録されたのは異例のことです。

日常的に歩く習慣を身につけ
楽しく歩く仲間を増やし
健康で元気な町をみんなで創ろう



参加者募集
健康増進係（チアフルつき 56-0300
内線 710）にて随時受付中。

緑
のふるさと協力隊
井上 龍太郎
No.6

暑い夏から収穫の秋になりました。これまでの夏の活動を振り返ると草取りや草刈り、イベントの手伝いが多かったです。他には、イチジクの収穫や日奈古の大石牧場にて乳牛の世話の手伝いもしました。

8月の草取りは暑いなか体力の限界に達するまでとは行きませんでした。かなりハードな仕事でした。しかし、シンプルかつ重要な作業であることは良くわかりました。場所によっては自分の背丈よりも高い雑草を抜きました。夏場の雑草の成長速度は、こちらの予想を超えていました。また、大豆畑の草取りでは、野生のおおず草やアサガオの侵食の凄まじさに驚きました。とくにアサガオは除草剤が効かないし、作物に覆いかぶさるように広がるので、大豆がダメになってしまうそうです。観賞用としては綺麗ですが、畑に野生のものが生えるところ

なに厄介な植物だとは思いませんでした。

話は変わりますが、家庭菜園について初めて書こうと思います。春にトマト類、ナス、ピーマン、キュウリ、オクラ、モロヘイヤ、かぼちゃなどを植えました。かぼちゃは一つしか収穫できませんでしたが、他はそれなりに収穫できました。現在は、ジャガイモと人参を植えています。あと何種類、秋野菜を植えるか、検討中です。

